

世田谷村日記

石山修武

十月十日 日曜日

今日は藤森照信についてエッセイを書くつもり。午後、書き始めて、二十一時修了。興が乗ってペンが進み過ぎたきらいがあるが、書きながら発見した事もあり、面白かった。

十月十一日

今日は何かの休日らしい

天気は相変わらず良くない。七時半起床。昨日一気に書いたユリイカの藤森論読み直す。マア読めるものになっているか。九時四〇分世田谷村発。西早稲田観音寺へ。今日は父親興武の十七回忌。年月が去るのは実に速い。観音寺の荒川住職が亡くなって三年になるが、住職の息子がもう十八になると言う。彼が寺を引継ぐそうだ。十二時前供養終わる。妹に久し振りに会った。観音寺も建てて八年経った。時間が経って風景になじんできた。建築と舗装された道路のすき間にほんの少し帯状に残した土に、雑草が生えてそれがうまく働いている。新宿南口小松庵で昼食をとり、世田谷に戻る。

十月十二日

今日も雨模様。六時半起床。森の学校の工事が始まるので朝、森の中に入らねばならぬ。ビッシヨリぬれるなこれでは。八時新宿、九時中央林間の森の現場。森の中を歩き廻って六十七本の残

す樹木と同じ位の伐つてしまふ樹木をマークする。伐る樹木は最小限にとどめた。森の中で二時間強歩き廻り、作業をして、体は良いリズムになったような気がする。昼食は古木理事長と森のソバ屋で。十三時南雲建設にてチョッピリハードな打合わせ。十六時半修了。理事長と寿司屋へ。十八時半まで会食。仲々、建築の仕事はスナナリとはいかない。銭金が大いにからむからな。この辺の事を肩代わりしてくれるスタッフがいてくれると、私の寿命はほどほど迄は延びるんだけど、今の状況は仲々難しいと思わざるを得ない。又、しかし、突破するしか無いもんね。電話連絡によれば明日は早朝四時五十七分の烏山始発に乗らねばならないらしい。チョツとキツイよねコレワ。

只今、十九時半成城学園で烏山へのバスを待っている。今日は二十二時には寝なくては。睡眠五時間か。